



また何か  
忘れ物してたんでしょ

いつも待ち合わせに  
遅れてくるじゃん

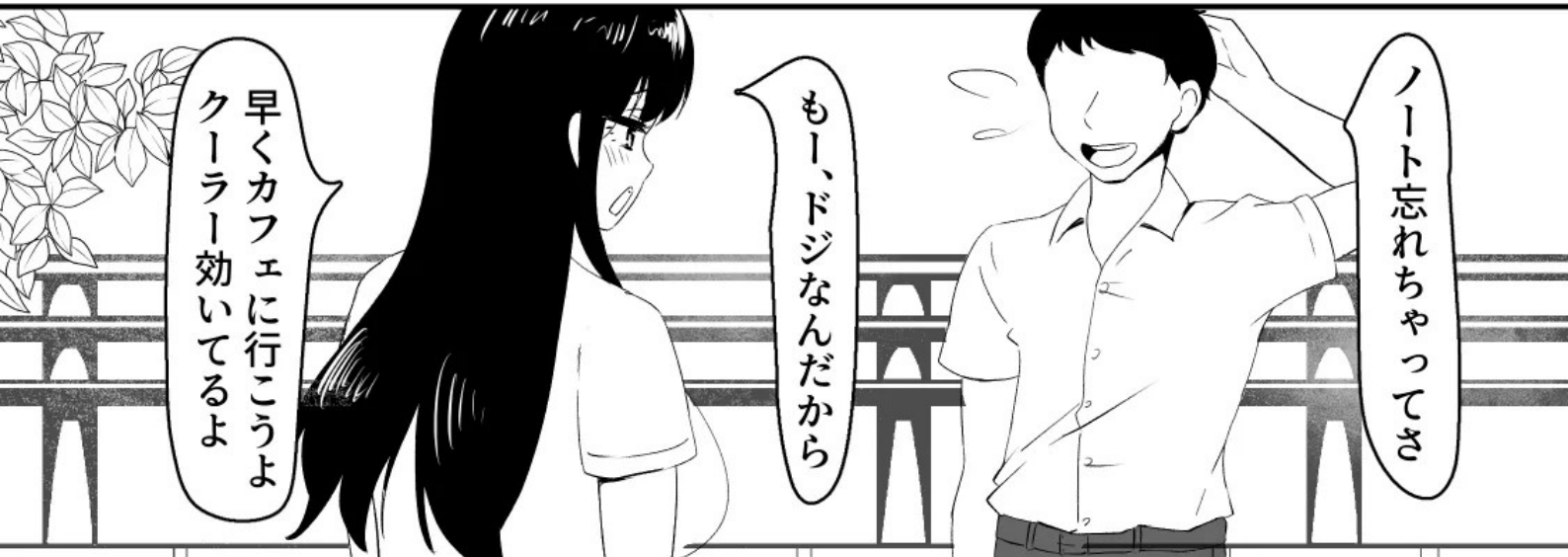


はあ、はあ



もーっ  
遅いよ、翔太

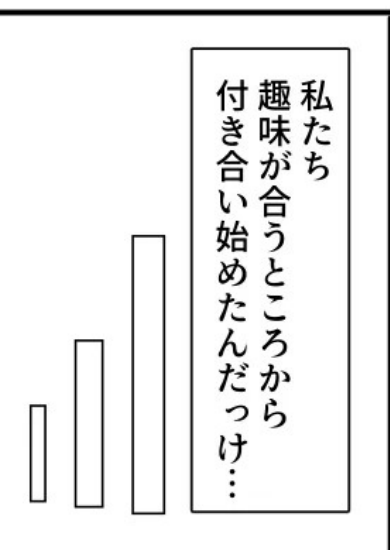
ごめん、葉月  
遅くなっちゃって



早くカフェに行こうよ  
クーラー効いてるよ

もー、ドジなんだから

ノート忘れちゃってさ





もう一人、誰とも話さずに  
食事をしている男子が  
平田翔太だった



1年生のとき  
一人で弁当を食べている  
ぼっちだった  
クラスメートが  
好きな俳優や  
バラエティの  
話をしてても  
馴染めなかった



読み終わったら  
私にも見せて  
ほしいんだけど  
うん、いいよ…  
そ、そうだよ…

ねえ、平田くん！  
わっ、な、夏川さん！  
それ  
東京リベンジ  
ウォーズよね



ん？あのマンガは…  
東京リベンジウォーズ！  
しかも最新刊！



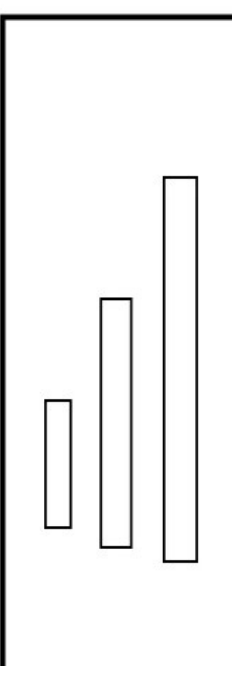
買おうと  
思ってたやつ！  
!?



うん、受検が  
うまくいくように  
買ったの  
お守り？  
そうだ、翔太に  
お守りあげる



懐かしい…  
まさか付き合うなんてね  
ねえ葉月、どうしたの？  
ボーっとして  
翔太のこと考えてただけよ  
お、俺のこと…  
なに照れてんのよ





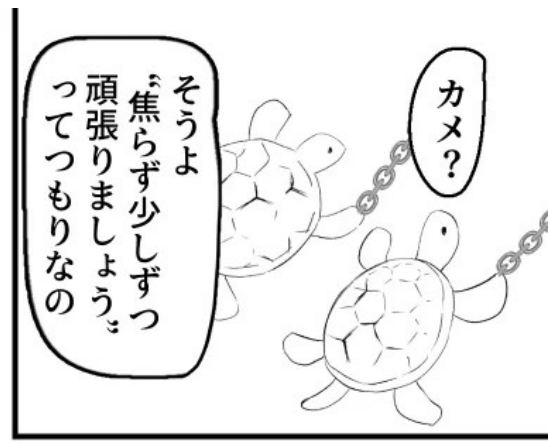
お、お揃い…

ほら、これで私たち  
お揃いよ



わっ!?

翔太のカバンに  
付けてあげるわ



カメ?

そうよ  
焦らず少しずつ  
頑張りますよっ  
ってつもりなの

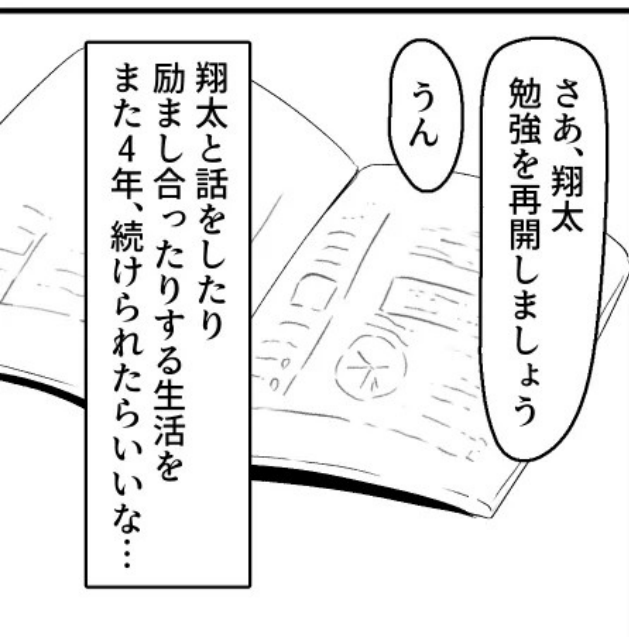


2人で頑張って  
同じ大学に行こうね

翔太が頑張ってること  
見てたら、私も  
サポートしなきゃ  
って思っちゃうの

私にできることなんて  
大したことじゃないけど

隣で勉強を  
見るのは  
できるから



翔太と話をしたり  
励まし合ったりする生活を  
また4年、続けられたらいいな…

うん

さあ、翔太  
勉強を再開しましょう



な、なんか  
照れるなあ…

素直に喜んでいいのよ  
言ってる私も  
恥ずかしいんだから



今日はどんなセクハラを  
言われるんだろう…

蛭山(ひるやま)先生だわ…  
本当に会いたくない



グフフツ、いいなあ  
ナマ脚がいっぱいだ

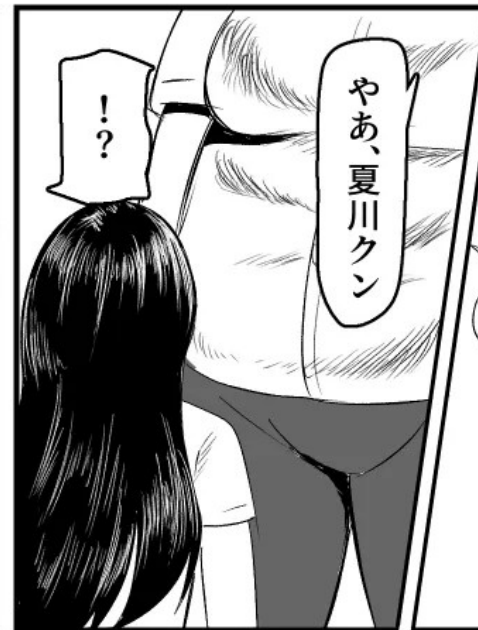
ふう〜、暑〜  
おお、女子たちは  
スカート短くして  
エロいねえ



イヤらしい人…  
最低だわ



おやおや、なぜ  
胸を隠すんだい？  
立派な胸なのに  
もったいないねえ



!?

やあ、夏川くん



僕のお気に入りには…



スケベ丸出しで  
平気でセクハラ  
するなんて  
絶対おかしいです

先生、異常です

女子の身体を  
ジロジロ見るの  
止めてください

何がおかしいのかね？

デカパイとか  
太もも見てんの  
たまらんぞ

このエロの楽しみを  
夏川クンにも分けてあげたいよ  
君もドロドロに汚されたら  
案外ハマっちゃうかも、グフフツ

なんて非常識な人なの…

まるで別の生き物と  
話してみるみたい  
言葉が通じてないわ

ねえ、翔太  
蛭山先生って絶対に  
頭おかしいわよね

俺もそう思う  
セクハラ教師だよ

しかも葉月のこと  
ジロジロ見て  
腹が立っちゃうな

男子ってみんな  
スケベな目で  
女子を  
見てるの？

ドキドキは  
するよ  
葉月みたいに  
カワイイ人が  
露出してたら

な、何よ急に…

ほら、翔太  
変なこと言ってる  
また勉強をしに行くわよ

わっ、葉月  
急かさな

いいから来なさい

うわっ!?

きゃあっ!?

がっ  
がっ  
がっ



痛た：転んじやった

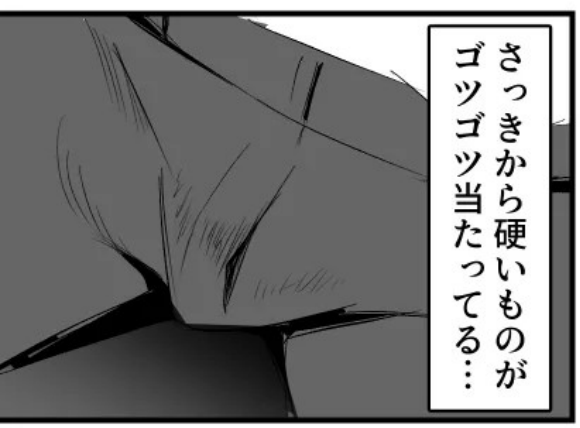
翔太、大丈夫？

う、うん…

起き上がるから  
少し待ってて…

はあ、はあ…  
嫌だ、離したくない

えっ？  
翔太…？



さっきから硬いものが  
ゴツゴツ当たってる…



きゃあつ、し、翔太！？

葉月を  
あんなエロオヤジ  
には渡さないぞ！

ど、どうしちゃったの  
翔太！？



翔太ったら  
こんなところで



翔太が  
男らしく見えるわ

恋人に迫られるのって  
こんなに  
ドキドキするのね…



す、すまない  
あのハゲオヤジに  
嫉妬して、つい…

そ、そう…  
いいのよ



んくうっ!

ぎゅっ



彼女として  
尽くしたい…

固い…翔太が  
たくましく見えるわ…



わっ、葉月!?

翔太、このままじゃ  
帰れないわよね?



えっ?

あの、葉月  
もう俺、ヤバいかも…

翔太ったら、摘んだだけで  
切ない声を出しちゃって…

葉月の手  
柔らかい…

うん、手でする  
くらいなら…

そ、そうだけど…  
葉月、いいの?

男の人って、こうやったら  
気持ちいいんでしょ?



いいいのよ  
ここなら誰も  
見てないし

ごめん、葉月  
いきなり  
出しちゃって



これが精液…  
ホントに白いわ  
それに暖かい…



きゃあっ!?!

ぐううっ!

蛭山先生  
話って何ですか？

夏川くんさ、彼氏に  
手コキしてたよね？  
ほら、よく  
撮れてるだろ？

バラされたく  
ないよね？

ウソ：  
撮られてた！？

確かに私ですね  
だから何ですか？

僕ともエロいこと  
しようよ

さ、触らないで  
ください！

抵抗していいの？  
噂されちゃうよ？

別に  
気にしません

そうかい…でもさ  
大学はどうするの？

僕も担任だからさ  
調査書に書くのさ  
「非行がある」って

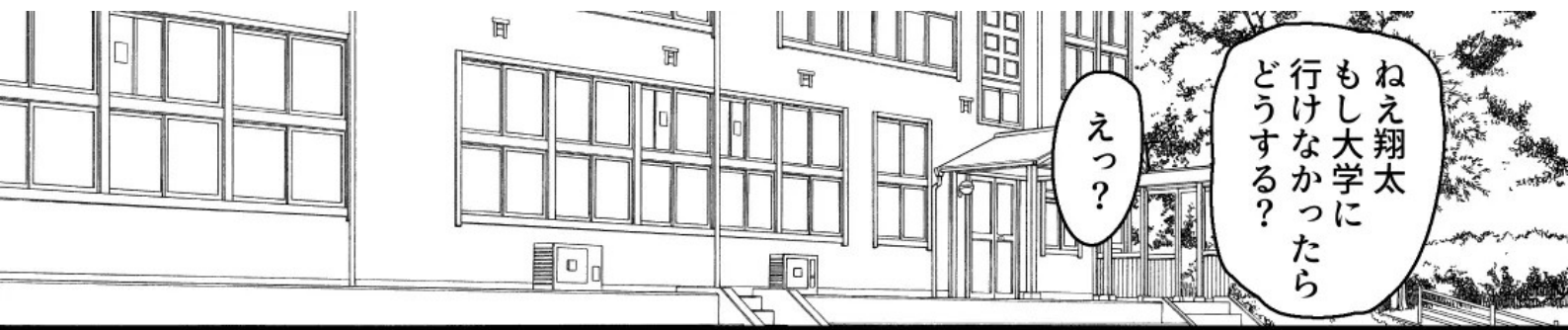
この辺の大学はどこも  
風紀に厳しいから  
進学できないよ？

進学できないから  
何なんですか？

んぐっ！？

大学に行けなくても  
私たちは一緒にいます！

私たちの邪魔を  
しないでください！



ねえ翔太  
もし大学に  
行けなかったら  
どうする？

えっ？

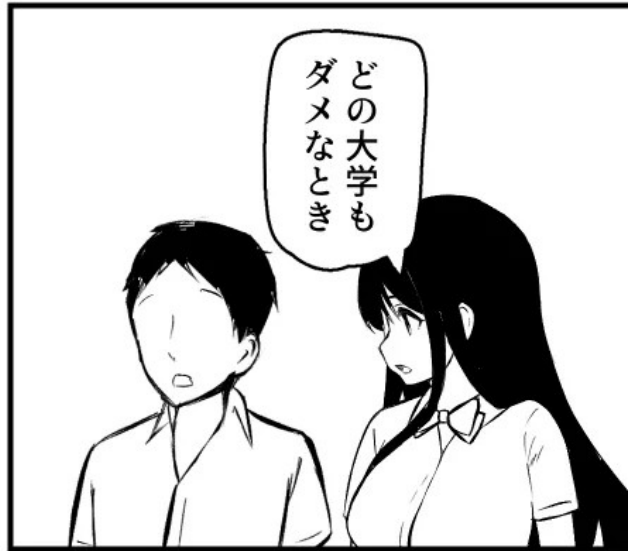


九州に  
引っ越すんだ

大学がダメなら



あー  
それなんだけど…



どの大学も  
ダメなとき

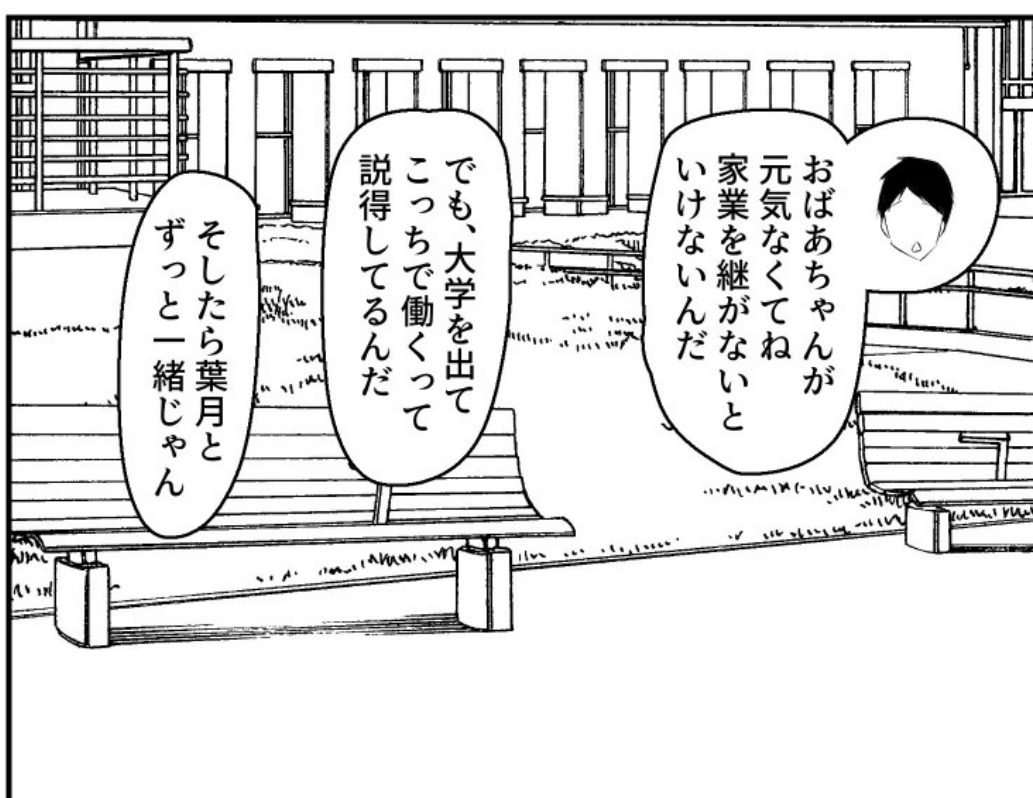


えっ…  
九州に  
引っ越し？



志望校も  
滑り止めも  
あの写真1枚で  
ダメになって  
しまう…

どうしよう…



おばあちゃんが  
元氣なくてね  
家業を継がないと  
いけないんだ

でも、大学を出て  
こっちで働かって  
説得してるんだ

そしたら葉月と  
ずっと一緒じゃん

翔太がいない  
大学生活…

また1人…  
なんとなく  
時が過ぎて…

知らない人と  
よそよそしい  
コミュニケーション  
して

翔太とデートもせず  
遠距離恋愛を  
4年間…

そんなの寂しくて  
耐えられない…

俺さ  
葉月のおかげで  
元気になったんだ

だから、家族よりも  
葉月がいる生活を  
優先したいんだ

そのために俺は  
受験を頑張るよ

翔太…

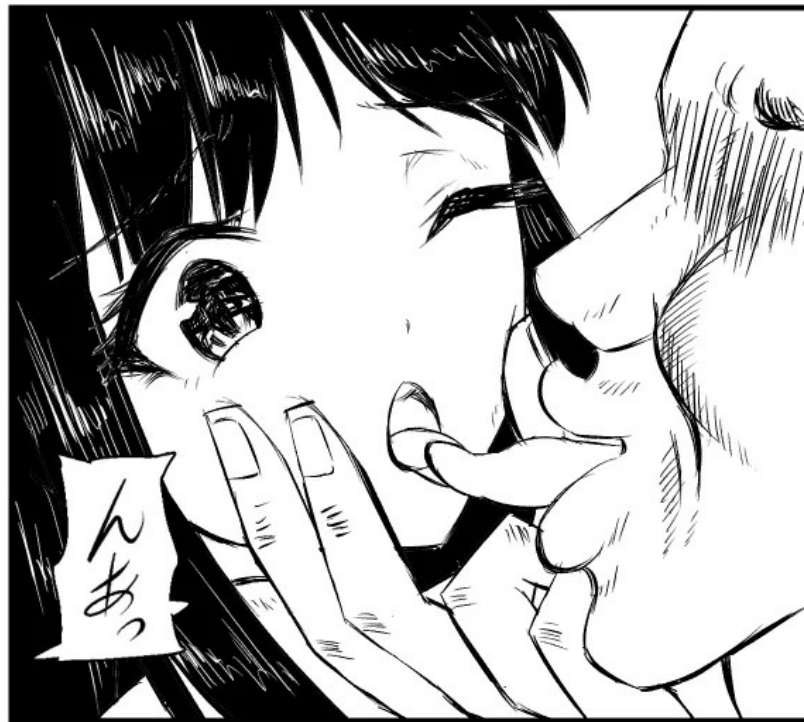
そんなに私を  
頼ってたのね…

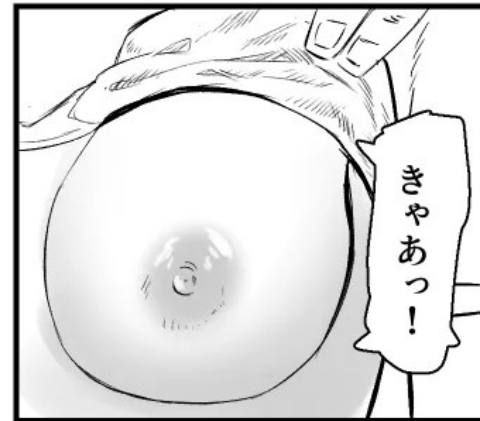
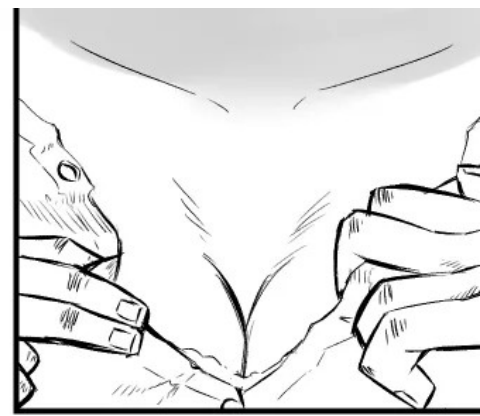
……っ

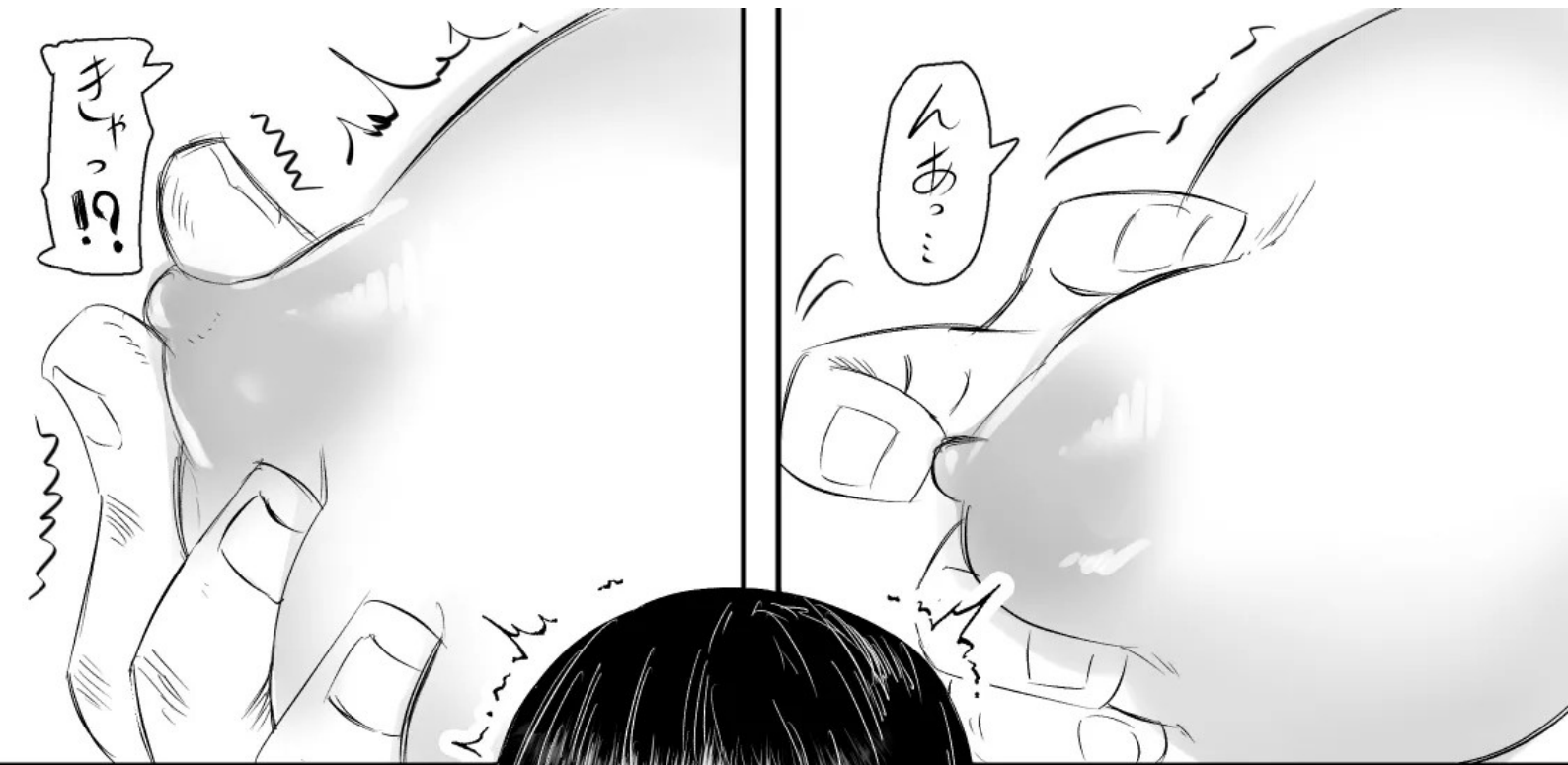
落とし穴って  
変なところ  
あるんだわ

それじゃあ私が  
勉強にいっぱい  
付き合うわ！

翔太の願望は  
私が守ってみせる！







おや、夏川くん  
乳首が固いぞ

あっ、やんっ!

艶めかしい  
指使いで  
クニクニと  
摘んでくる

なんかウツトリしてない?  
もしかして俺の乳首愛撫  
気持ちいいとか?

そんな、わけ……  
ないです……っ!



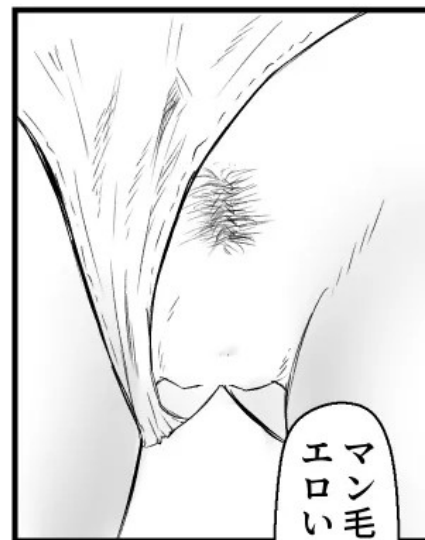
息ハアハア  
させちゃって……  
気持ちいいの?

気持ちよく  
ないです……

彼氏に手コキ  
してるときも  
そんなエロい声  
出してたっけ?

し、知りません……











本番セックスは  
もっとマンコを  
開発してからだな

……

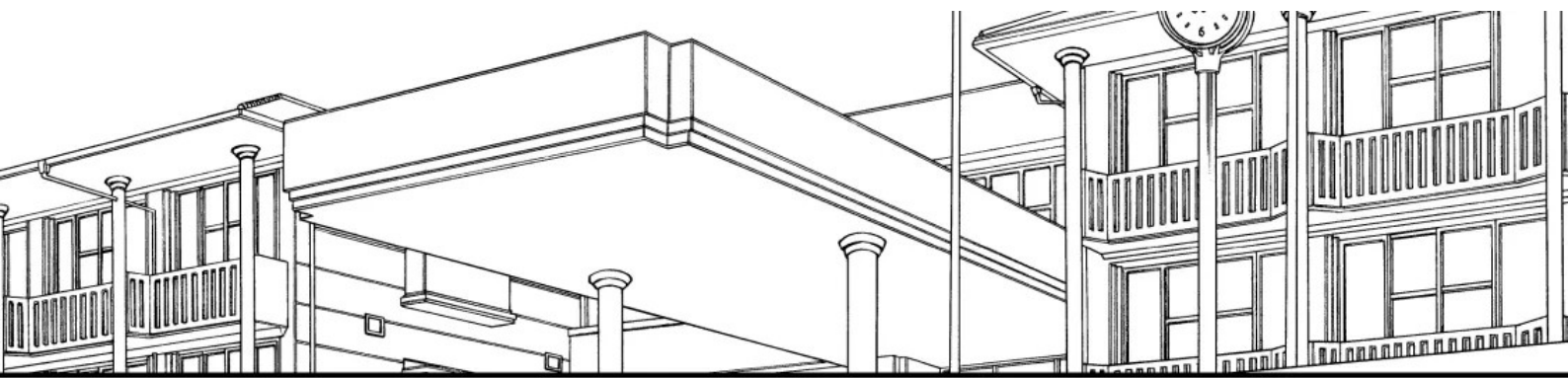
性行為が終わっても  
先生の脂ぎった  
手汗の感触が  
身体に染み付いて  
離れなかった……



ぷはっ……



おっと  
カメのストラップにも  
かかってしまった



葉月  
どうしたの？  
元気なさそう

う、ううん  
大丈夫よ…



とてもじゃないけど  
話せないわ…



あはは  
今日は  
間に合ったよ



おやおや  
断れる立場なのかね？  
さっきのクリイキも  
撮影してるんだぞ

彼氏、ショック受けちゃうかも  
受験が控えてるのにねえ

……



次もよろしくね  
ちよつとずつ  
仕込んでくから

次!?

クリ弄るだけで  
終わらないよ

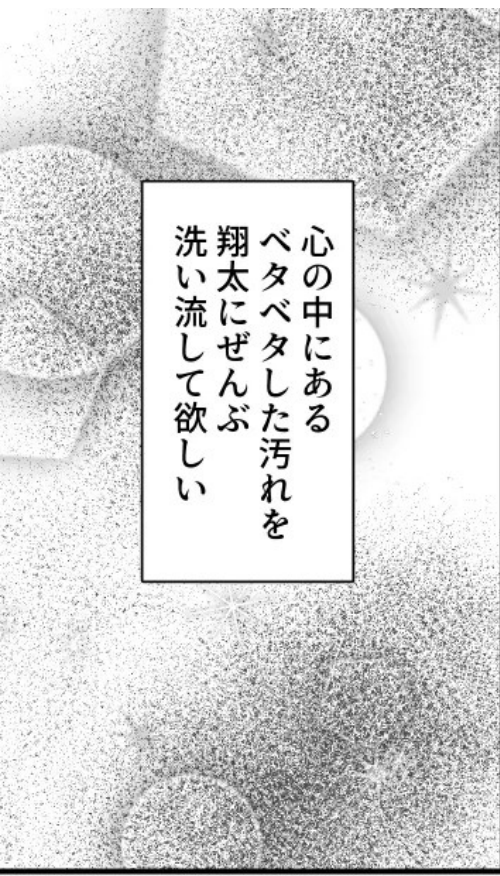
そんな  
イヤです！



昨日は、先生の  
ギトついた汗を  
お風呂で洗い流して

イカ臭い精液が  
染み込んだ下着も  
すぐに洗濯した

それでも心の中は  
気持ち悪い…



心の中にある  
ベタベタした汚れを  
翔太にぜんぶ  
洗い流して欲しい



こういう気分なの

は、葉月  
大胆だね…

わっ!!  
む、胸が…っ!



な、なあ、葉月…  
胸、触ってもいい?

うん…



いやあーっ！



ごごめんね  
イヤってわけじゃ  
なくて…



あっ…



は、葉月っ!?



どうしよう…  
翔太に嫌な思いを  
させちゃったわ…



やっぱ止めとこうか…  
俺も調子乗りすぎたよ  
すまない…



グフフ、偉いね  
すぐ来てくれた  
じゃないか…

今度はクンニで  
ほぐしてあげよう

蛭山先生は  
事あるごとに  
私を呼びつけた



んっ…くうっ…  
や、やめてください…  
気持ち悪いです…

へえ、気持ちよさそうに  
アンアン喘いでいるのに？

ち、違います…  
気持ちよくなんか…



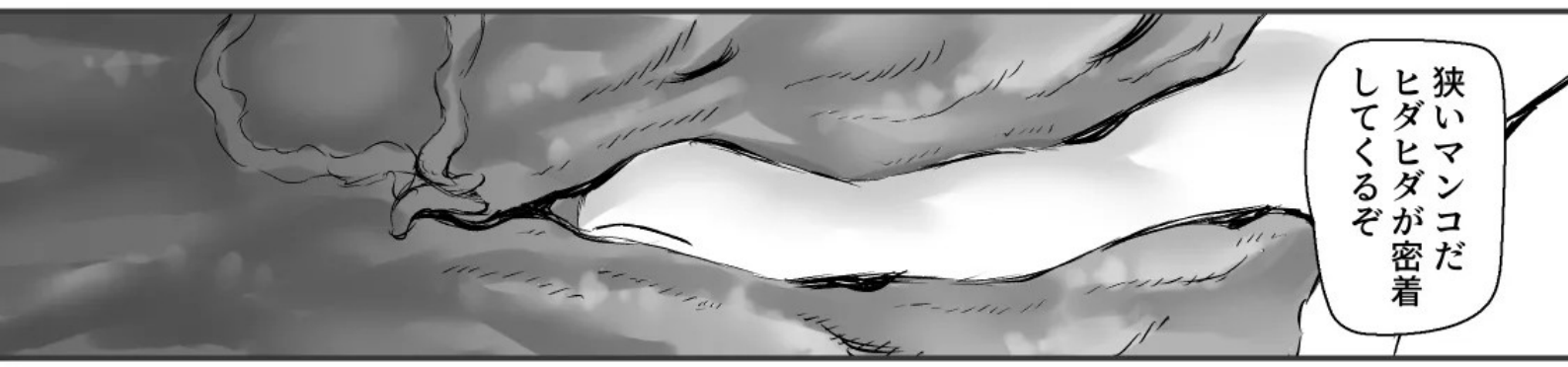
んんっ…



いいやつ  
先生  
そんなトコ  
あっ…  
んくっ…



別の日



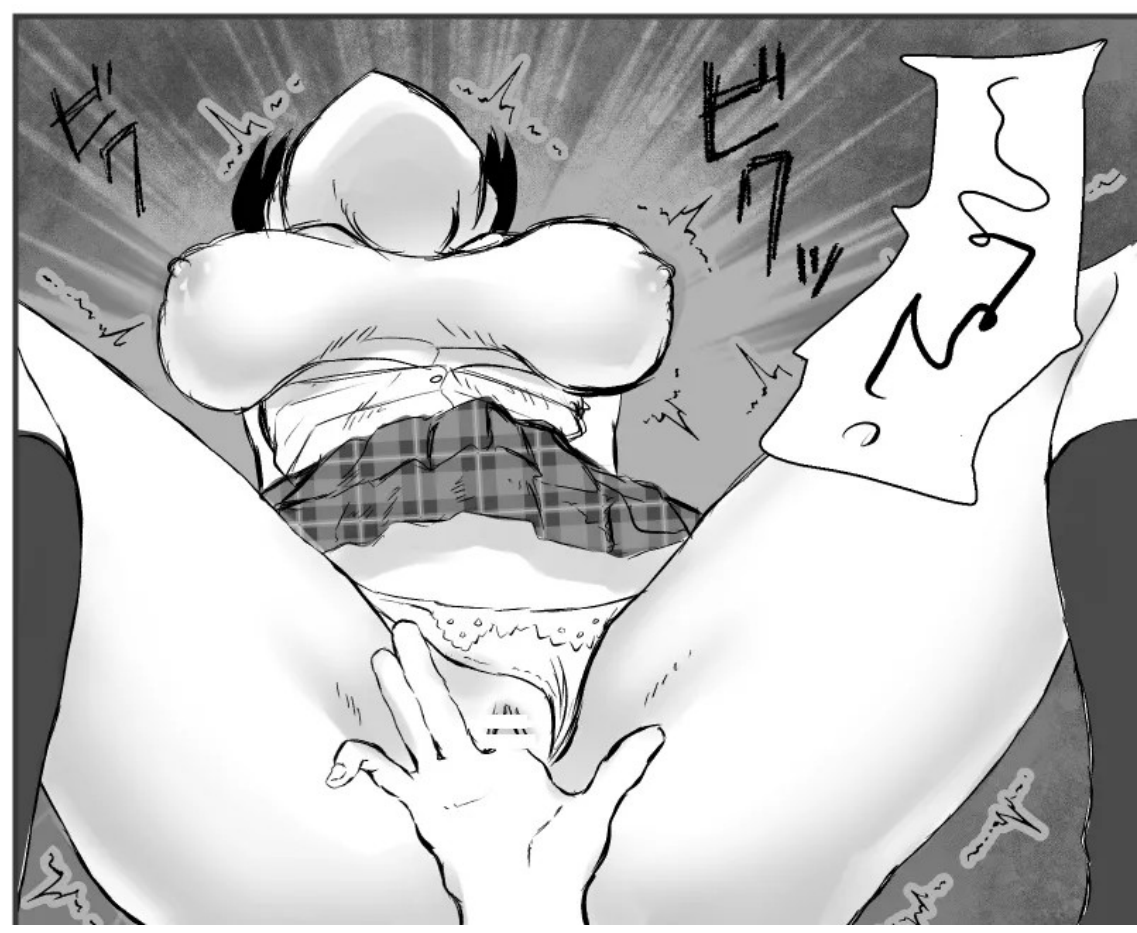
狭いマンコだ  
ヒダヒダが密着  
してくるぞ



あっけなく  
イキおって  
破廉恥だのお



何、この感覚…？





そんな屈辱の日々に嫌気が差してしまい今日は先生からの呼び出しを無視した

後先を考える余裕もなくて…

ただ、気分を晴らしたかった



今日は待ち合わせ早いよね

デートだから早起きしたよ

あと、私服カワイイね

ほんと？嬉しい



翔太、お待たせ



翔太に褒められた…恥ずかしい…

悩んでコーデ選んでよかったわ…



あっ、電話…蛭山先生ね



無視しよ…電源オフ



アニメグッズ  
並んでるわ

翔太  
これ見て



身体をジーツと  
見られてるわ  
この服、派手かな？



えっと…

ウマの娘  
ブルーアーケード…  
翔太は何が好き？

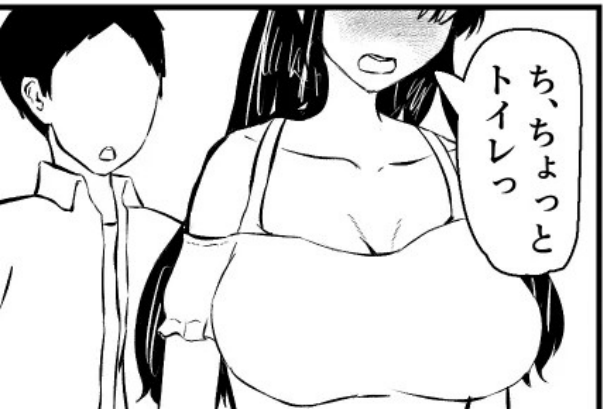


おかしいわ…  
前はこんなこと  
なかったのに…



あんまり見られると  
身体がウズウズ  
してきちゃう…

いけない…  
外なのにアソコから  
液体が垂れてる…

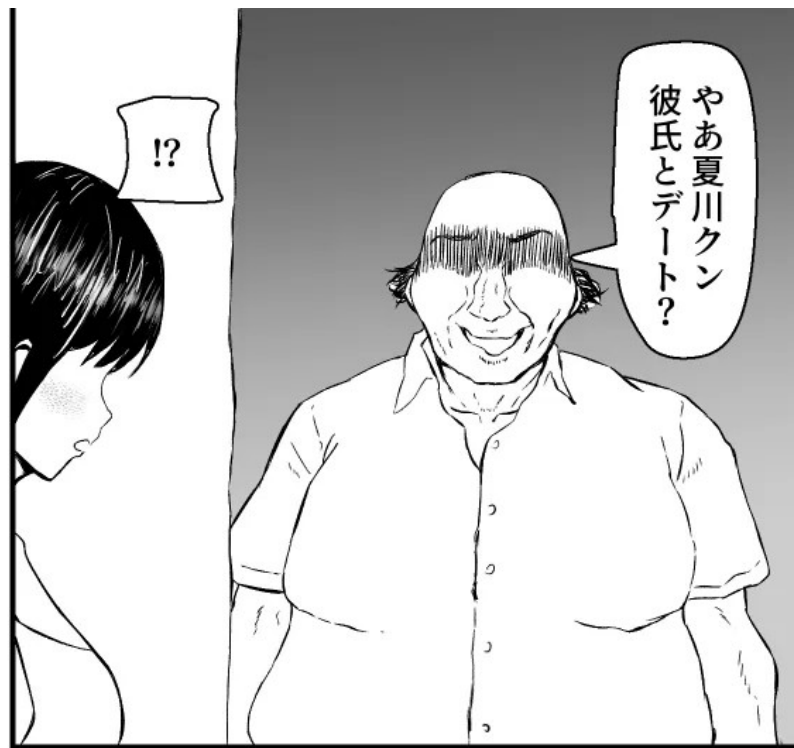


ち、ちよつと  
トイレっ



クククッ  
薄型GPSくらい  
仕込んであるさ…

ひ、蛭山先生  
どうして…



やあ夏川くん  
彼氏とデート？

!?



きゃあっ  
胸っ、イヤあ

この服エロ…  
見せつけてる？



!?

僕に逆らった罰として  
バイブ挿れちゃうよ

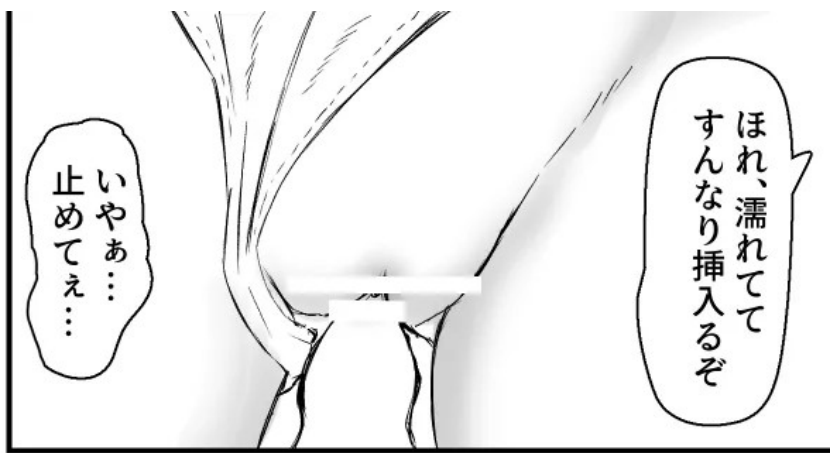
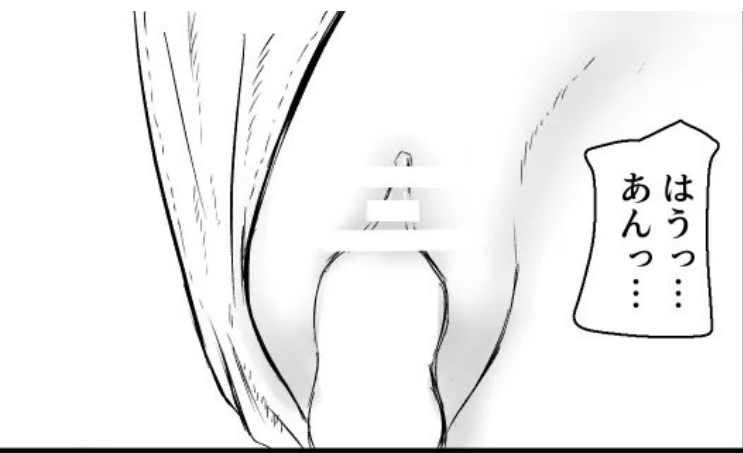


あれ、マンコ  
濡れてんじゃないん？

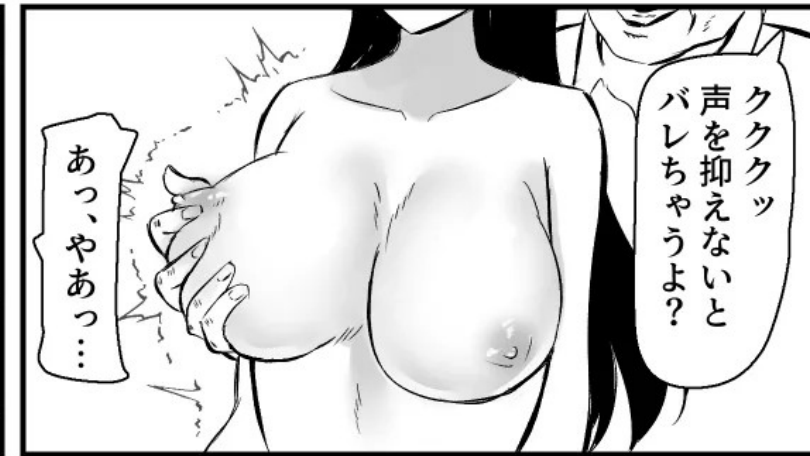
いやあっ

彼氏の前で  
発情したんだ？

ち、違いますっ









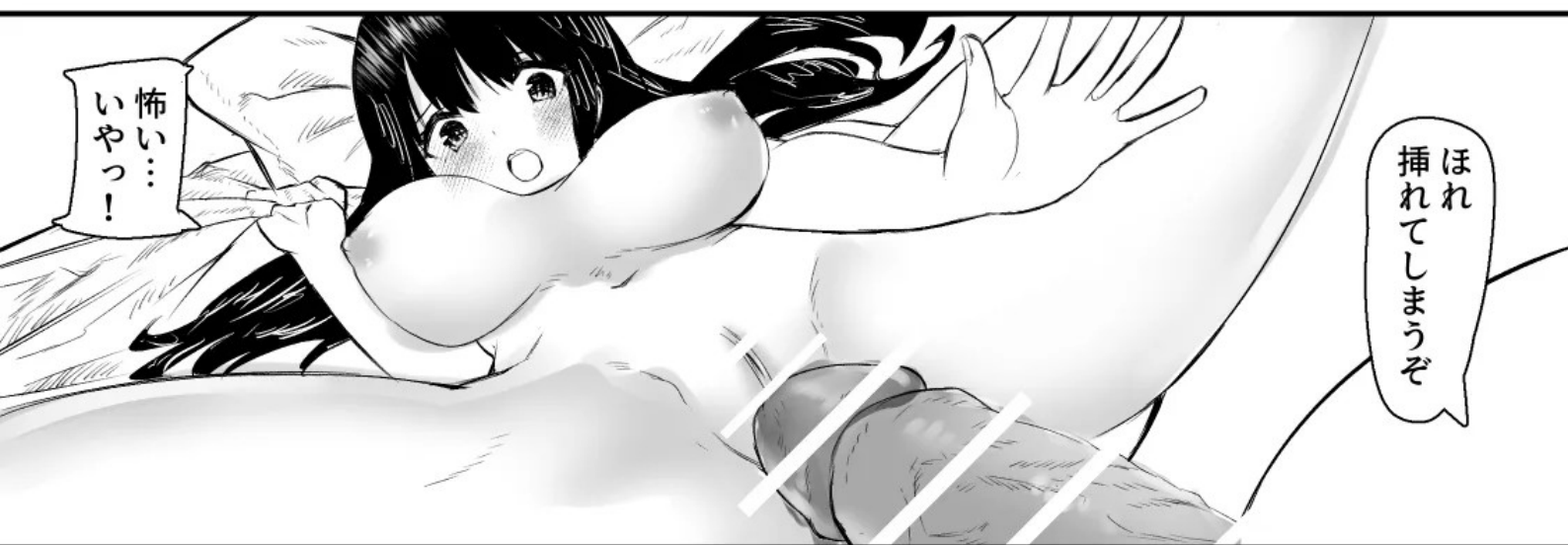


お、大きい…  
こんなの  
挿れられたら…



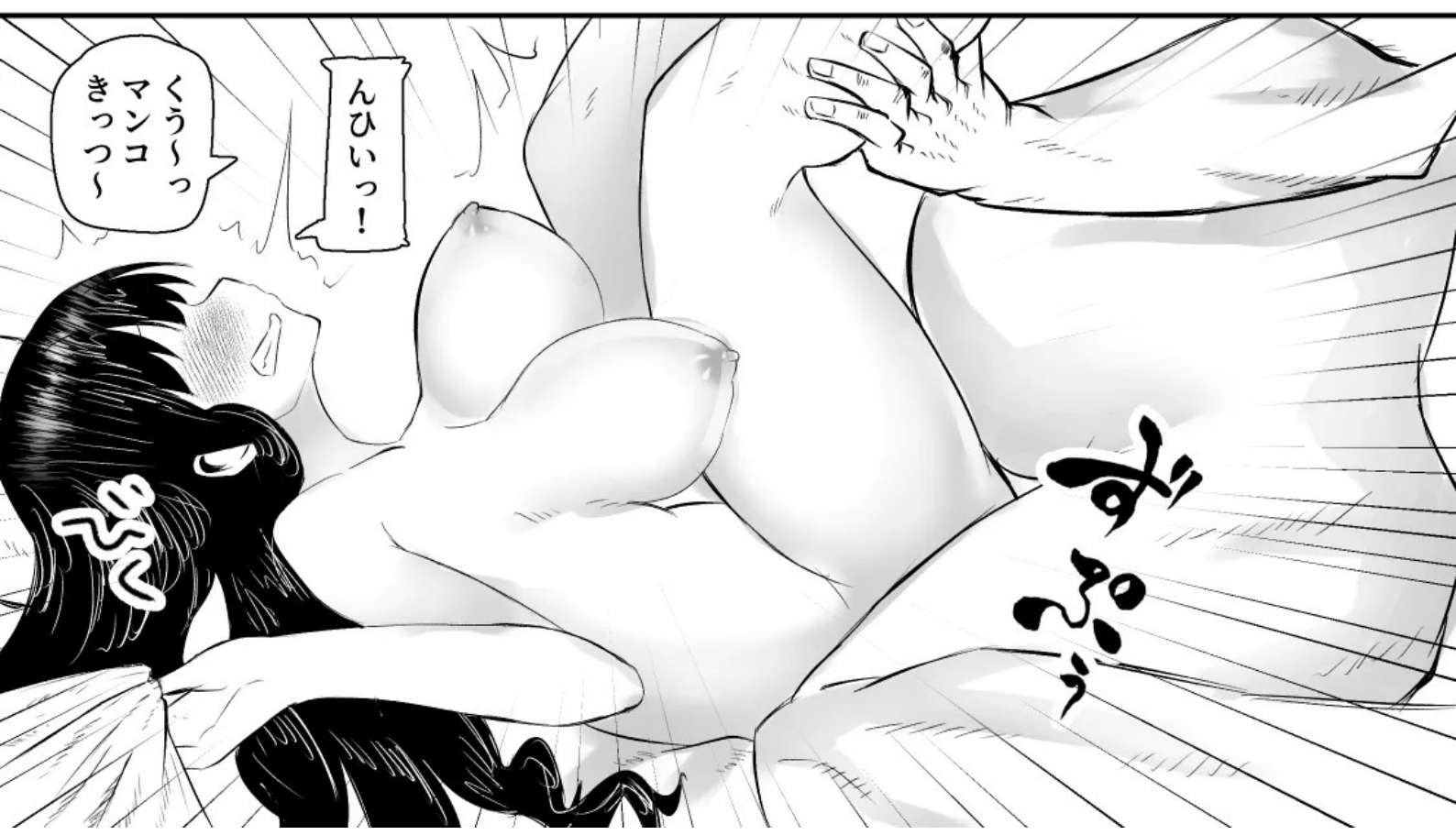
!?

ほれ  
今度こそ  
チンポを  
突っ込むぞ



怖い…  
いやっ!

ほれ  
挿れてしまうぞ



くうっ  
マンコ  
きっつっ

んひっ!

びびっ

何これえ…  
おっきい…

何度も  
ほぐしたから  
痛みもなく  
すんなり  
挿入ったなあ

はあはあ…  
頭がボーっと  
する…

はあ

デカチンポで  
突いてやるぞ

ひいっ!?

夏川クンのマンコ  
キツキツで  
たまらんのお!

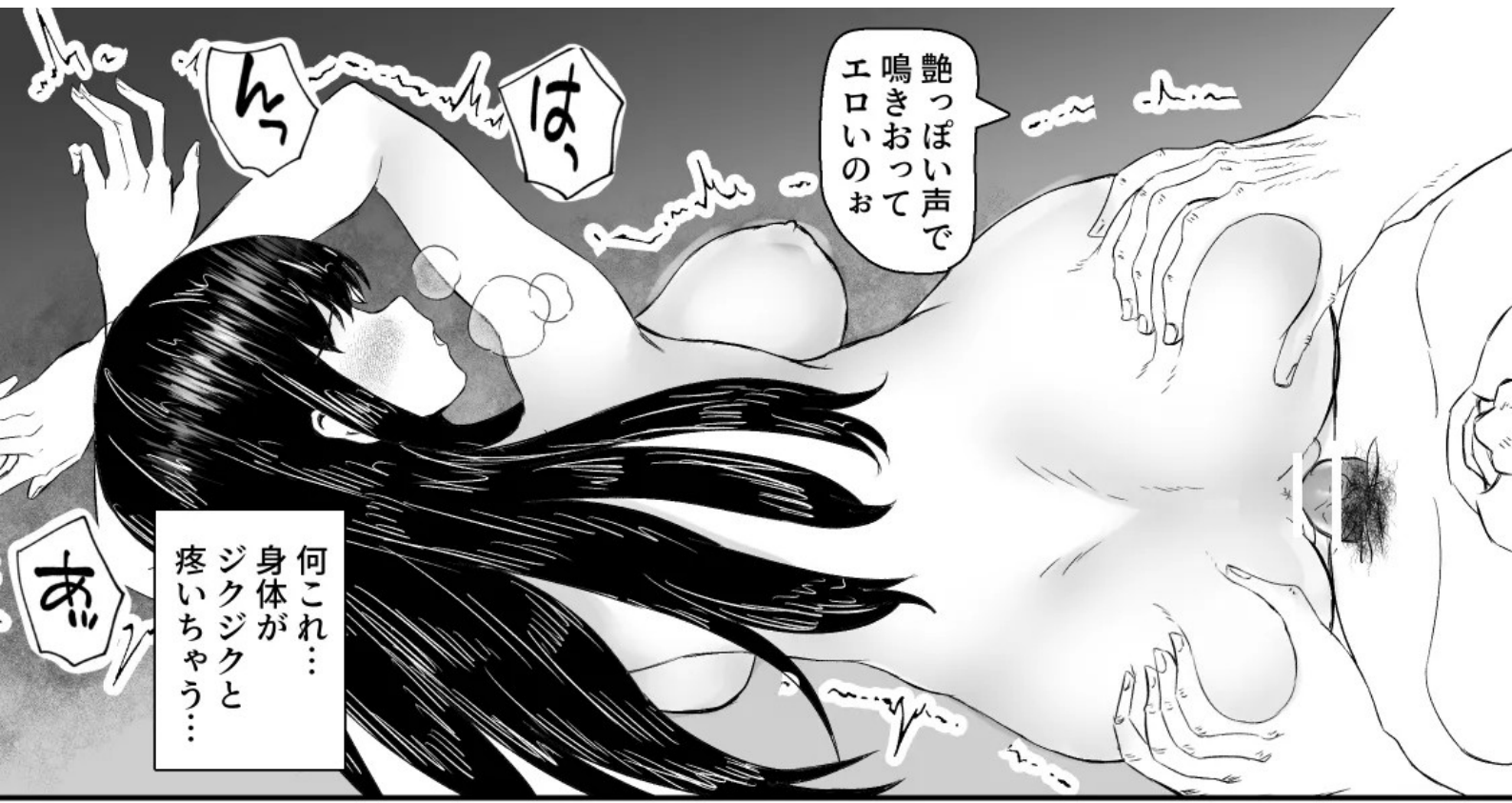
いやあつ  
そんなにゴリゴリ  
動かさないでえ…

マン汁をビチャビチャ  
垂らしおって  
チンポ好きなのかね?

ち、違いますっ  
ああんっ!

ズッ

ズッ



艶っぽい声で  
鳴きおって  
エロいのお

何これ…  
身体が  
ジクジクと  
疼いちゃう…

あ

ん

は



ほれっ、もう  
射精するぞ

ひあああっ!!  
は、激しいっ!!

ぽん

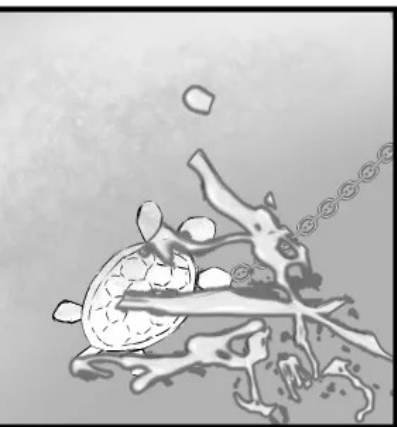
ぽん

こんなの知らない…  
もう我慢できない…

ん

あ

ま



くうくっ  
マンコ締まって  
たまらん!



ひどいわ...  
中に出すなんて...

グフフツ、マンコ  
気持ちよすぎてのお  
後でアフターピルを  
渡してやろう

ドロドロに汚されて  
気持ち悪い...

それなのに  
身体は熱く  
火照ったまま  
ジクジクと疼きが  
収まらなかった...

ひま



胸の谷間や



スカートの中に  
視線を感じる…



は、葉月  
今日は大胆だね…

そ、そうでしょ  
着こなし  
変えてみたの

本当は蛭山さんの  
命令だけど



葉月っ  
やっぱ  
カワイイ!

またデート  
したいな

ひゃあっ!?!  
デ、デート?



翔太  
興奮してる…

いけない…  
私まで  
ドキドキする…







ヤバ…エロい

翔太とデート  
行けなくて寂しい…



葉月!?



はあ…はあ…  
こんなの  
送るなんて



ぐうっ!



はっはっ  
葉月  
カワイイ!



オナニーとか  
してんのかな?

今ごろ葉月も  
俺のこと考えて

ああんっ  
激しいっ!  
あっ、あんっ!

今ごろ彼氏は  
ヌいてるかもね  
グフフツ

日々のセックスは  
蛭山さんが  
好むものに  
変わっていった

彼の嗜好に  
合わせて  
乳首を舐め…

レロレロすんの  
最高っっ



おっぱいを擦り付け  
奉仕を欠かさない…

ペニスに屈伏し  
アンアン喘ぐ声を  
耳元で聞かせて…

あっ…  
あんっ…

フィニッシュへと  
導かれていく…

私…限界…っ!

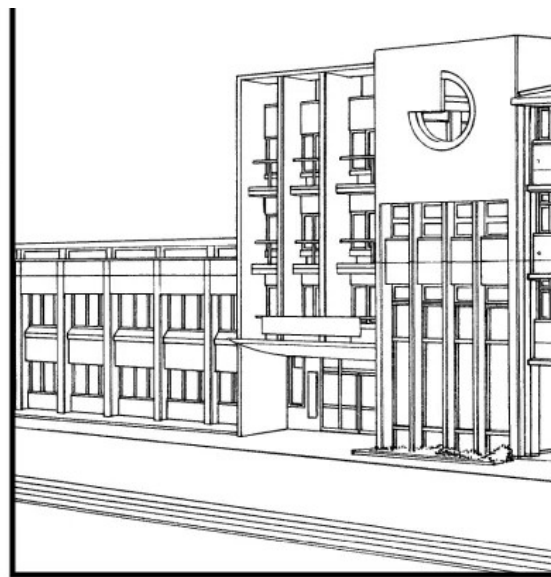






そ、そっか  
いきなり変なの  
送ってごめんね

葉月…  
昨日の写真  
かわいかったよ…



えっ!?

誰かに撮って  
もらったの?  
自撮りじゃ  
なかったから…

あの写真さ…



デートより  
友達か…

寂しいな



どうしても  
外せない用事って  
友達だったの?

えっ…友達?



あっ、ええと…  
あれは…



もうこれ以上  
翔太を  
傷つけない



友達っ

友達と遊んでたの



ごめんなさい  
そんなつもり  
じゃないの

わっ!?!  
葉月っ!?!

翔太のこと  
大好きよ

今まで溜め込んでた  
悔しさや罪悪感が  
どっと溢れ出た

翔太にもっと尽くしたい…  
だけど、日に日に汚されて  
翔太との距離が離れていく…



今夜、ホテルに  
行きましょう?

ええっ!?!



なんで泣いてるの?  
ほら、大丈夫だよ

それでも翔太は  
優しく抱き返し  
私を温かく  
包んでくれる…





なんか  
チュー上手いっ...



んむうっ?!



ちょっと...  
葉月!?  
いきなり...

翔太のペニス  
欲しい...



ええっ?!  
挿れる!?

はあ...はあ...  
翔太あ  
このペニス  
挿れたいよ...

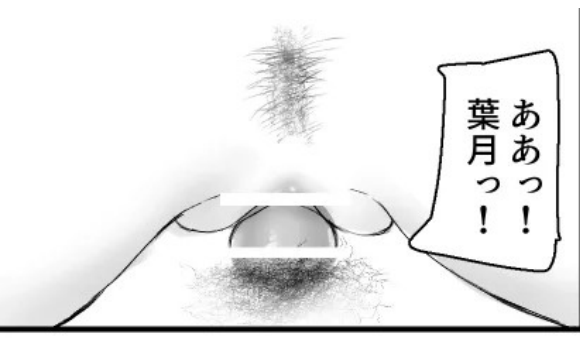


んぐうっ  
口の中  
温かい...

大きくなった...  
すごく硬いし  
口の中で  
ビクビクって...



皮を被った  
小さいペニス  
でも先っぽを  
舐めると...





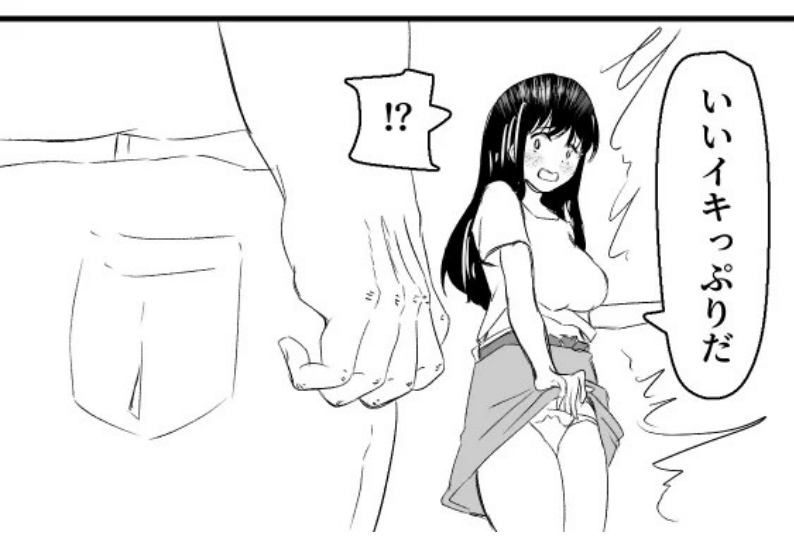


ナカ、まだ  
ぐちよぐちよ...



指使いが  
止まらない...

公園のトイレで  
オナニーなんて  
ダメなのに...



!!

いいイキっぷりだ



んんっ!

声を聞かれたら  
ヤバいのに...  
イクっ...



ほれ  
お待ちかねの  
チンポだ

あっ…  
ああっ…

ヤバっ…  
この大きいの  
感じちゃう…

グフフツ  
彼氏のより  
デカいだろう

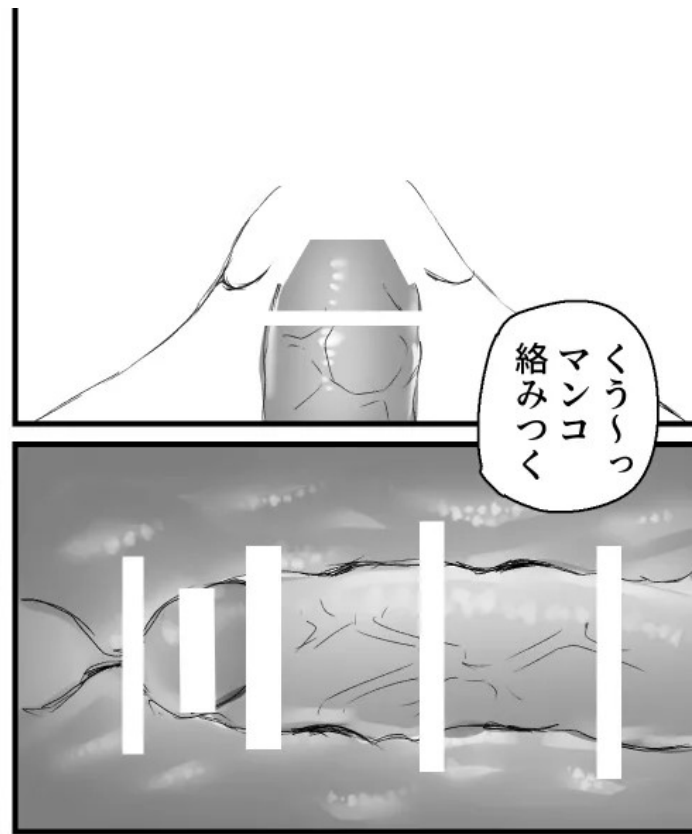
マンコひくひく  
させおって…

ひゃっ  
やあっ!



ああっ!  
んああっ!

そんなに  
デカチンポ  
欲しかったか



くうっ  
マンコ  
絡みつく



おかしく  
なっちゃう!

すごい…  
こんな  
ペニスで  
突かれたら…



彼氏の  
粗チンポじゃ  
イケないでしょ?  
だから今、逃げずに  
マンコ差し出して  
いるんだろう?

そ、そんな訳じゃ…  
ひゃああっ!

ぬ、  
ぬ、

ぬ、  
ぬ、



ああっ!  
んああっ!

されるがまま  
デカチンポに  
翻弄されおって

すっかり  
淫乱マンコに  
仕込まれたなあ

腰が勝手に  
動いちゃう!



バストやヒップを  
淫らに  
擦り付けおって…  
スケベ娘が…

もう…ダメ…



ぢゅっ  
ぢゅうっ



れろっ  
えああ…



ああああっ……!

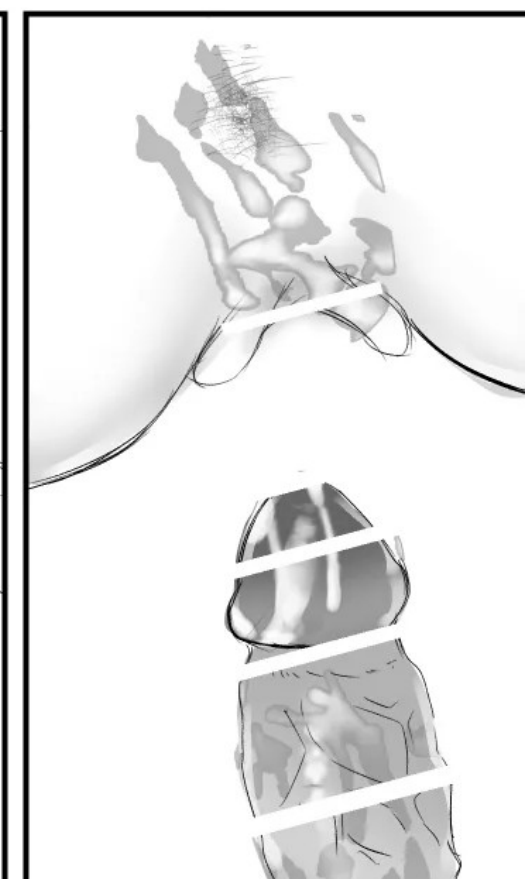
おお  
イッたイッた  
マンコぎゅゅと  
締めおるわい

我慢なんて  
絶対ムリっ!



はあ……  
はあ……

このペニス  
じゃないと  
イケない……



いけないこと  
してるのは  
わかってる…

だけど  
翔太が好きで  
離れたくない

だから  
最低でも  
週1回は  
デートした

葉月がこんな  
オシャレな  
レストランで  
デートしたがる  
なんて

たまには  
張り切るのも  
いいでしょ？

うん、嬉しい

いつも勉強  
頑張ってるから  
たまには2人で  
息抜きしましょ

ああ

こんな時でも  
ちよっと  
ムラムラする

!?

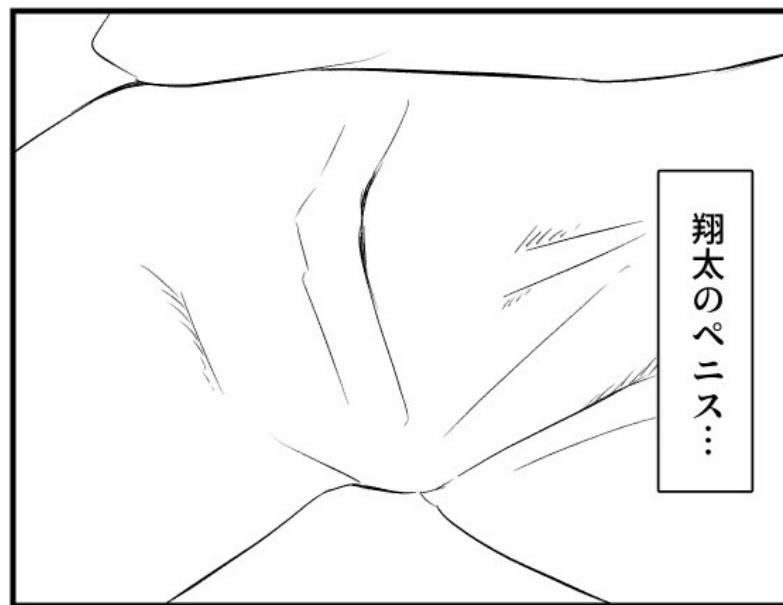
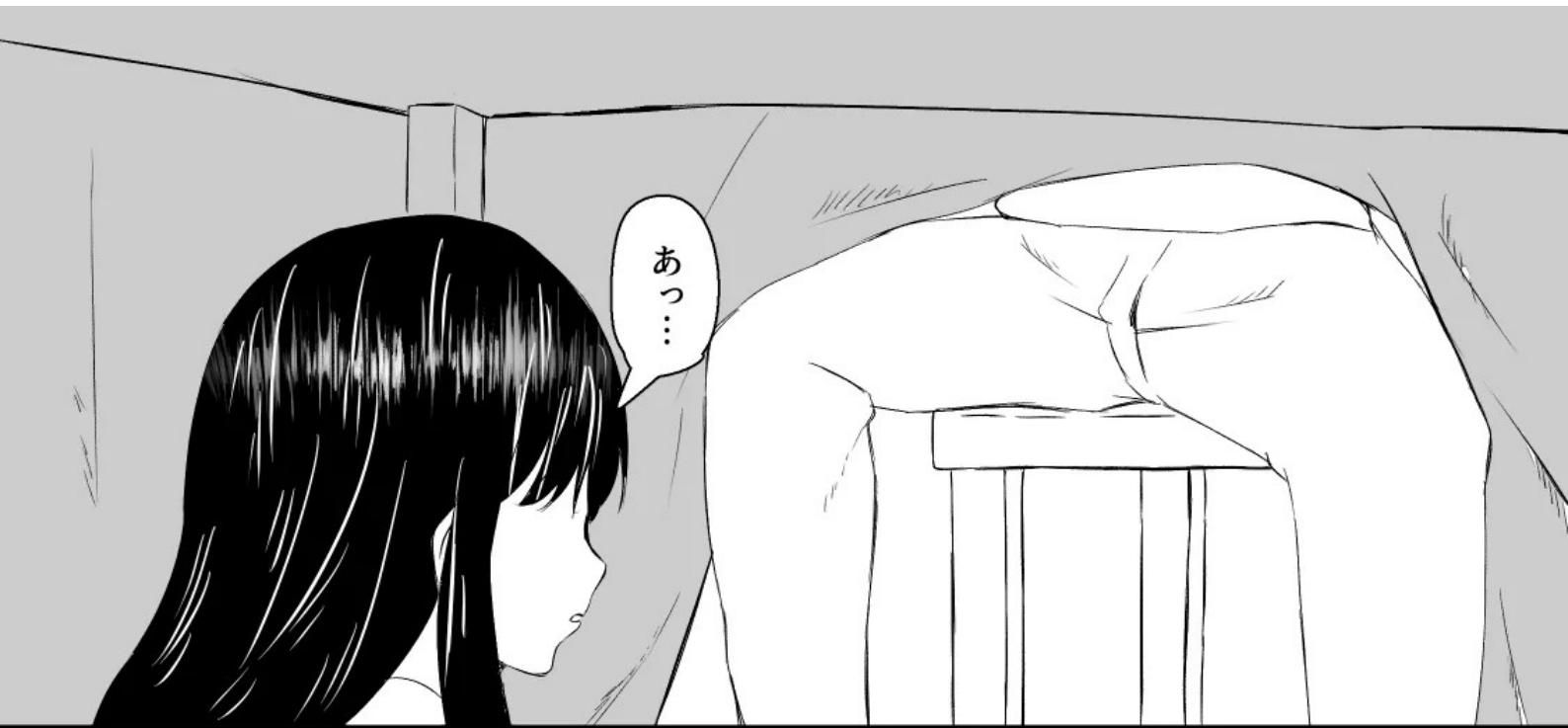
あっ…  
スプーン  
落とした

大丈夫？

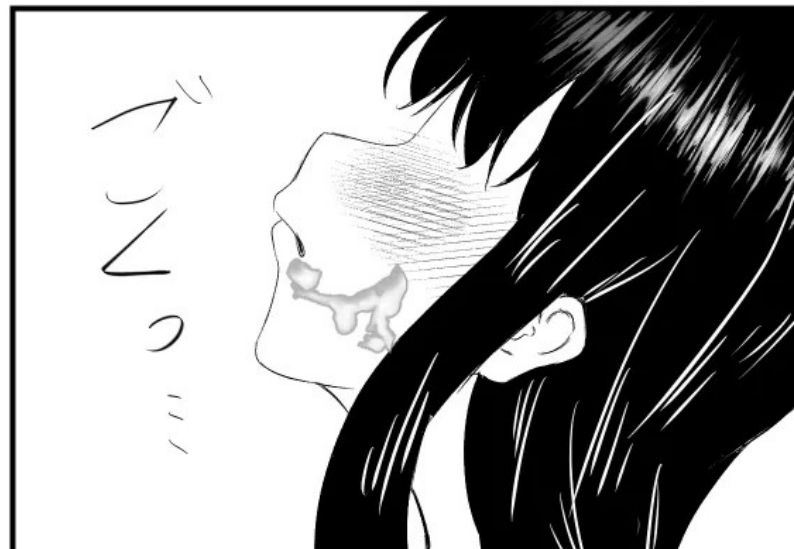
ドジったわ

レストランで  
興奮するなんて…

調子が  
崩れる…









ごめんね  
カフェ行けない  
また後で  
通話するから



あっ  
通話だ



翔太  
調子どう？

うん、順調



はあ…  
最近、1人が  
多いなあ…

葉月が  
いなくて  
寂しいな…

距離感が  
変わっちゃったよ…



はあはあ…  
そ、そう…  
よかったわ…

葉月  
疲れてる？  
息が荒いよ

えっ  
う、ううん  
何でも  
ないわ…



葉月は  
何してるの？

えっ、私!?  
そ、それは…  
実家かな…

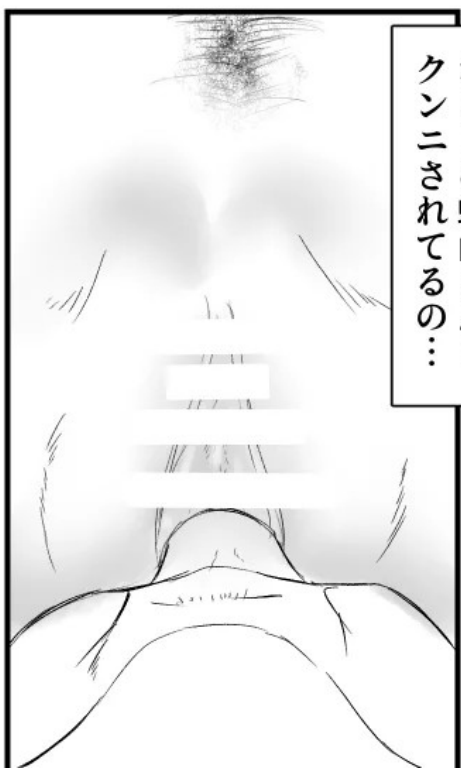
あははっ  
かな、って何?  
実家なんだね

そ、そうよ…  
ちよっと家の  
お手伝いを  
してるの



あっ  
激しいっ

は、葉月!?  
どうしたの!?



ごめんね翔太…  
ホントは蛭山さんに  
クンニされてるの…



頑張ってるね  
俺、待ってるから

う、うん…

嘘ついでるの  
バレちゃう…

はあ…はあ…  
もう…ダメ…  
イキそう…

もう限界っ！

葉月っ！  
なんだか  
息が荒くなってる

ぶちっ

ひぐっ!?

おやおや  
潮まで吹いて  
イクなんて  
ハレンチだのう

葉月  
大丈夫かな…

切れちゃった…

こんなの  
我慢できない

れろ

れろ



取れない...  
出たら  
バレちゃう...

電話が  
鳴ってるよ  
取らないの？



もうオマンコ  
トロトロじゃん  
チンポ  
挿れちゃおうか



あれ  
抵抗するの？

ペニスを  
求めちゃダメ...

ほれ、チンポ  
欲しいんでしょ？





じゃあ  
止めちゃお



ふーん、そっか  
彼氏を取るんだ

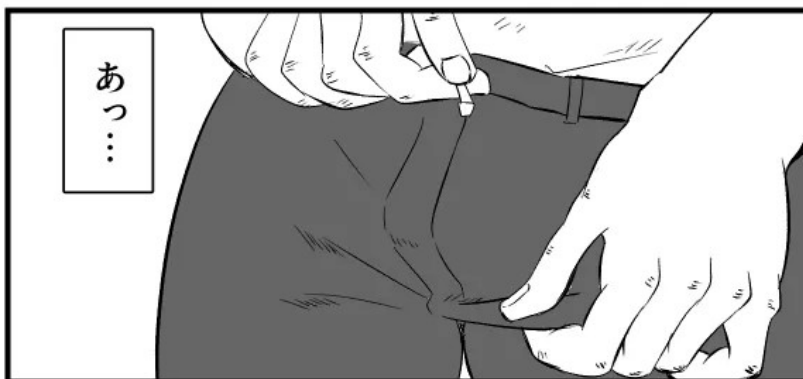


葉月っ  
大丈夫!?

やっぱり出よう  
こんなこと  
止めなきゃ!



そんな…

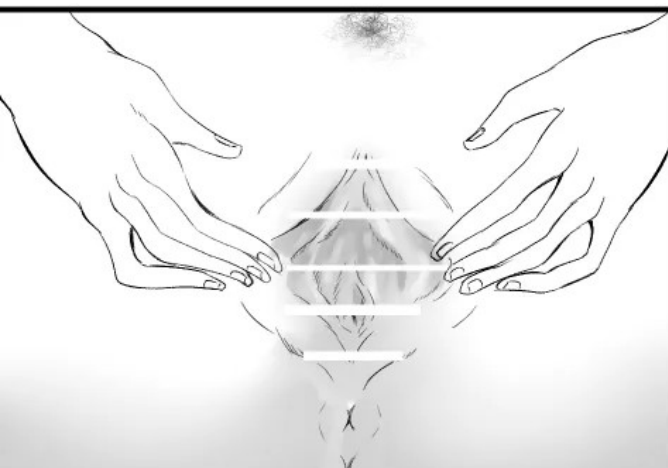


あっ…



葉月ーっ  
聞こえてる?  
どうかしたの?

ここで終わりなんて…  
1時間も焦らされて  
ムラムラが  
抑えきれないのに…



もう…  
ムリ…

お願いします…  
オ、オチンポ下さい…

オマンコの  
いちばん奥まで  
挿れて欲しいです…







すっかり  
トロ目だな  
スケベ女め

はあっ  
はあっ  
チンポ  
すごくて…



中に…  
中に下さる…！



ほれっ  
出すぞ！

あっ、あんっ！

ぽん

ぽん



葉月クンのマンコ  
ぐちぐち音を立てて…  
辱めがいいがあるのお

このオチンポ  
挿れられると  
濡れちゃいます！

はあっ  
んはあっ！



あっけなく  
イカされた…

もう蛭山さんは  
私の身体を  
知り尽くしてる…



切れるる…  
危なかった



ヤバっ！  
通話  
切ったっけ!?

翌年、春

私たちは  
大学生に  
なった

ごめんね  
遅くなっちゃった

いいよ  
去年と立場が  
逆になってるね

はははっ  
そ、そうね…

葉月と  
同じ大学に  
行けてよかった

うん、私も…

ところで葉月…

さっきから  
気になってるん  
だけど…

??

なんか  
脚が濡れてるね…

!?

妙に優しい  
口調だった

それと、翔太は  
何か言いたそうに  
ためらっていた

……っ

朝、蛭山さんと  
セックスしたから…

えっ、あははっ  
走って来たからかな

……そっか

翔太の前で  
嘘をつくのに  
慣れてしまった…

翔太とデートして  
求め合うのは今でも楽しい…

でも翔太には満たせない  
ゾクゾクした世界から  
私は抜け出せなくなった…

いつか、バレてしまう…  
止めなきゃと思っても  
身体の疼きは抑えられない…

ヒビが入ってる…

翔太とお揃いの  
カメのストラップに  
大きなヒビがあった

完全に割れずには  
済んだようだ

しかし、ふとした衝撃で  
真っ二つに割れるくらい  
大きなヒビが入っていた

???

ふと視線を下に向けたとき  
ストラップが目に入った

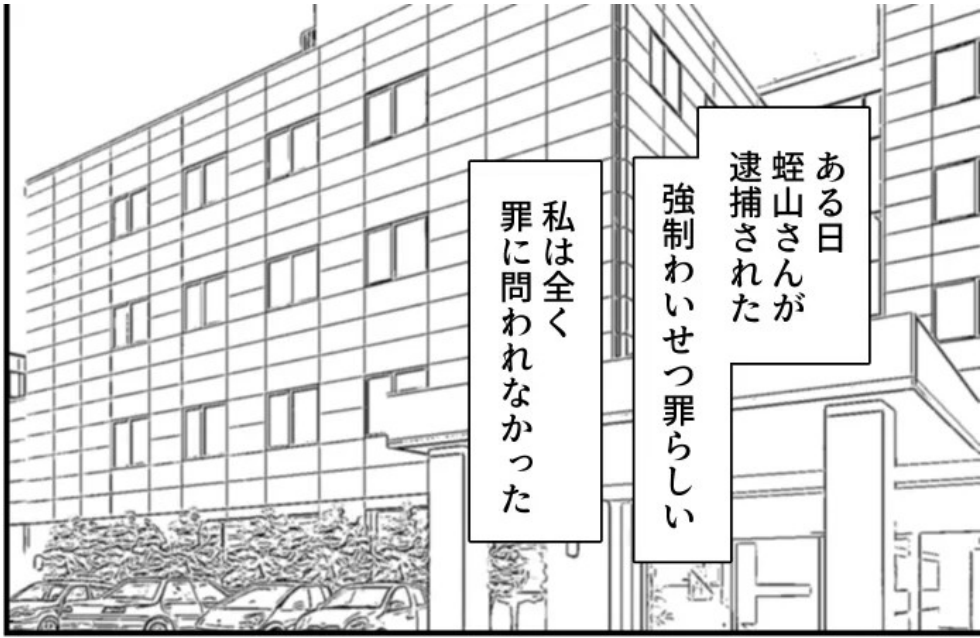
ある日  
蛭山さんが  
逮捕された

強制わいせつ罪らしい

私は全く  
罪に問われなかった

突然のことで  
頭が追いつかなかった

でも1つだけ  
確かなことがある



これでやっと  
終わったのだ…

私の身体が  
汚される日々は  
もうなくなる…

心から安堵した

翔太と尽くし合う  
生活に戻る…

だが、異変は  
すぐに訪れた

ずっと習慣だった  
セックスが  
突然なくなったのだ

身体にいつも  
違和感が残り続けた

翔太とデート中でも  
そわそわして  
落ち着かない…

葉月  
大丈夫？

う、うん…  
平気よ…

つまり…



セックスがしたい…

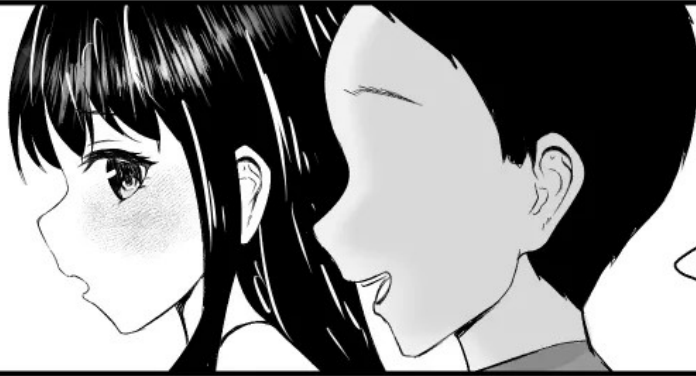
ムラムラが  
収まらない…



葉月  
調子が悪いの？  
ゾクゾク  
震えてるよ

翔太は  
いつもより  
優しい声で  
そう言った

彼は薄笑いを  
浮かべていた



もう終電は過ぎたし  
タクシーも並んでるな…

いっそのこと  
ホテルで休もうか？

まるで最初から  
台本が用意されて  
いたかのよう

翔太は手際よく  
私をホテルへ導いた





私はすぐ  
ベッドに  
横になった

すると翔太は  
何の躊躇もなく  
ベッドに割り込んで…



葉月  
こうされるの  
好きなんだろう？

あっ…それ…

一瞬、心が跳ねた  
蛭山さんに何度も  
されたやつ…

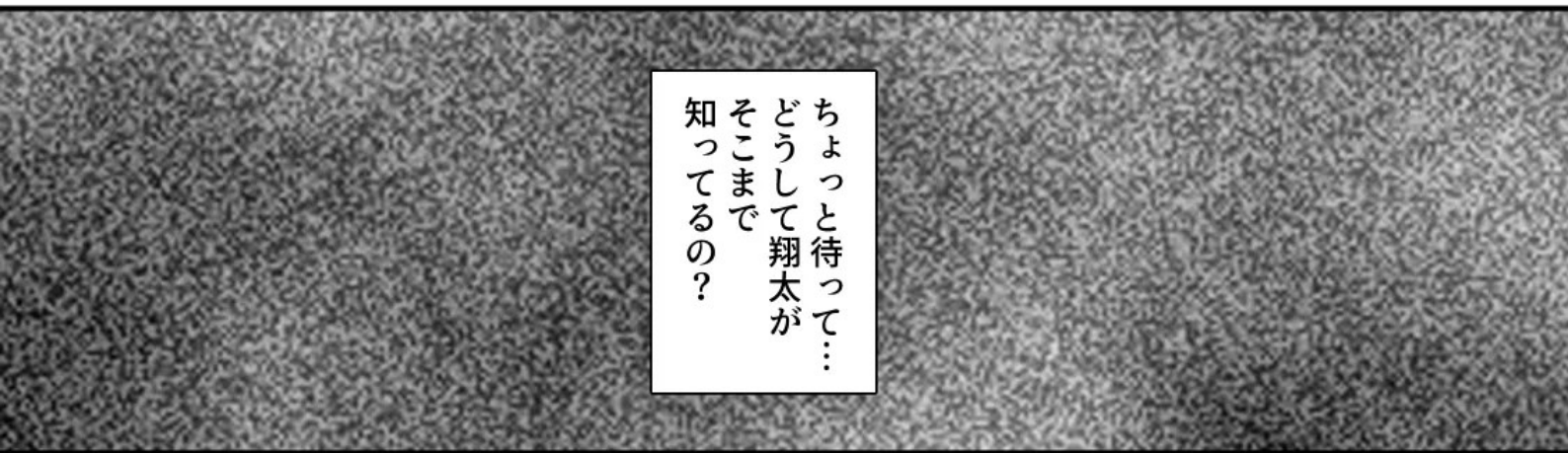


胸とか尻とか  
撫でられて  
ハアハアしてんの？  
エロいなあ

これ、蛭山さんと  
同じ触り方…

ダメっ…身体が  
ゾクゾクって  
疼いちゃう…

汚された感覚を  
思い出しちゃう…





へへっ、葉月  
今さら気付いたの？



翔太の表情は  
汚れていた…

!!!



監視カメラを  
葉月の部屋に  
置いただけさ

ビデオを見た蛭山は  
ぜんぶ喋ったくれたよ

葉月とどんな  
セックスを  
してたかをね



きゃあっ！

通報したのも  
俺だよ

そうだよ  
葉月と蛭山が  
セックスしてるの  
俺は知ってたんだ



今日からは俺が  
葉月のこと  
汚しまくるから！

ひゃっ！



俺はずっと  
シヨック  
だったんだぞ

でもいいんだ…



くうううっ!

お、おっきい…  
ペニスが前より  
大きくなってる!?

俺のチンポ  
デカくなったろ?  
チントレしたんだぜ  
ずっと悔しくてさ

チンポ  
デカ  
チンポ

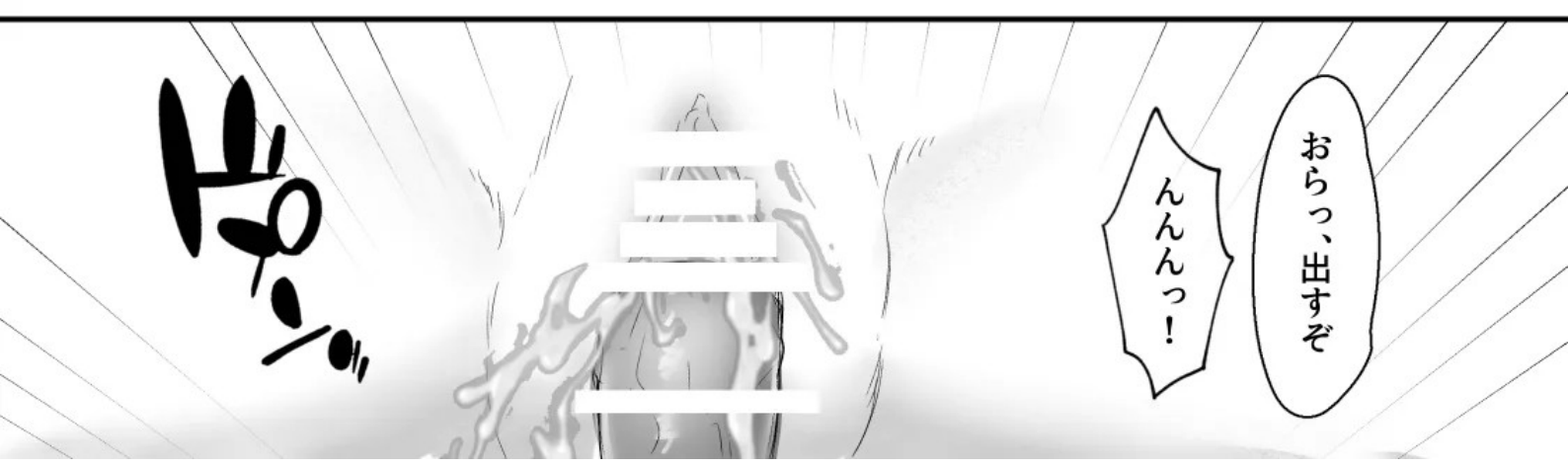


葉月はここが  
開発されてん  
だってな?

ひやっ、そこっ  
グリグリダメえっ!

奥までぴったり  
届くだろ?

アッ  
グッ  
グッ  
グッ



おらっ、出すぞ

んんん!

グッ  
グッ  
グッ

蛭山とのセックス後はアフターピル飲んでたんでしょ？

俺そんなの持ってないから

そのうち赤ちゃんできるかもな

165

165

おらっもう1戦するぞ！

ああんっまだ硬い…

前と違って1回で終わらないぞ

は、は、は、

前より精力も付いたからギンギンだぜ  
もっとセックスさせろよなスケベ葉月っ！

あっひゃあっ！

あ

ん

ん

あ

110

110

110



激しいっ！  
あっ  
やあんっ！

蛭山に注がれた  
ザーメンは  
ぜんぶ俺ので  
上書きしてやる！



あっ、ああっ！  
それダメえ！

もう1発出すぞ！  
あーっ、たまんねえ！



そう謝るけど  
声は震えていて  
身体はガクガクと  
刺激に悶え続ける…

ごめんなさい、翔太  
今まで黙ってて  
ごめんなさい！



とろろっ...



また汚されちゃった...

もっと早く  
翔太にぜんぶを  
打ち明けていれば

綺麗な恋のまま  
いられたのに…

はあ…はあ…  
葉月、まだ俺  
足りないよ

そんな後悔は  
どす黒い欲望で  
打ち消された

この先ずっと  
翔太を裏切ったことを  
詫び続けるのだろうか…

そして彼に汚されて  
悔しさの込もった精液を  
膣内に注がれる

その繰り返しの日々…

カメのストラップは  
割れずに済んだ

しかし、サビが広がり  
どんどん黒く変色して  
汚れは落ちそうになかった

END